

回覧

茂原市リサイクル推進委員会会報

会長あいさつ

日頃より本委員会の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、さまざまな自粛を求められた一年となりました。

本委員会でも通常総会を書面決議で行い、学習会は対象を理事と役員のみに絞り開催するなど、活動を制限して実施しました。また、視察研修は中止とさせて頂きました。

コロナ禍で思うように活動ができないなか、啓発活動に力を入れようと、茂原市自治会長連合会と長生郡市広域市町村圏組合に協力をいただき、ごみの排出方法に関する啓発用チラシを作成いたしました。このチラシを通して、少しでも不適正排出が減り、廃棄物の減量に繋がることを祈念するとともに、今後も3Rの推進に努めていきたいと考えておりますので宜しくお願い致します。

茂原市リサイクル推進委員会
会長 露崎 皓久

令和2年度功労者表彰

令和2年8月7日に茂原市役所において、豊田副市長より受賞者を代表して市長賞の野原恒夫様に表彰状が授与されました。

令和2年度功労者表彰受賞者は以下のとおりです。

◎市長賞

(個人) 野原 恒夫 様 (東郷地区)

◎市議会議長賞

(団体) 五郷地区婦人会 様 (五郷地区)

みどり長寿会 様 (五郷地区)

国府関長寿会 様 (二宮地区)

◎教育長賞

(団体) 茂原市立東部小学校 様 (茂原東部地区)

◎リサイクル推進委員長賞

(個人) 濱元 明美 様 (二宮地区)

杉崎 茂 様 (豊岡地区)

(団体) 上林北自治会 様 (茂原中央地区)

清水新和自治会 様 (豊岡地区)

第25区弓渡自治会 様 (豊岡地区)

ライオンズマンション第2自治会 様 (鶴枝地区)

下永吉団地自治会 様 (鶴枝地区)

上林友の会自治会 様 (茂原中央地区)



※写真は左より豊田副市長、野原様、露崎会長

活動報告(学習会)

例年、学習会は全委員を対象に開催していましたが、今年度は理事と役員を対象を絞り、令和2年12月22日(火)に市役所市民室において、市環境保全課の佐久間課長による「ごみ処理とお金のはなし」と題した内容で開催し、24名が参加しました。

現在、ゴミの処理は長生郡市広域市町村圏組合で行っていますが、茂原市は他の町村と比べ、資源ゴミの処理に関する費用が高くなっています。

その理由として、6町村が月1回の収集に対して、茂原市は月2回収集しているため、年間五千万円以上の特別収集委託料がかかっています。

とは言え、月2回の収集を1回に減らすことは難しいとの意見も多く出されました。

また、すぐできる取り組みとして、スーパーや酒店、新聞店等の独自の回収ルートがあるところを利用することにより市の負担金の軽減になることや、紙類や衣類は、濡れてしまったり、サイクルされず、焼却処分となるため、出すのを控えるか、透명한ビニール袋等に入れて出すことが重要との話がありました。

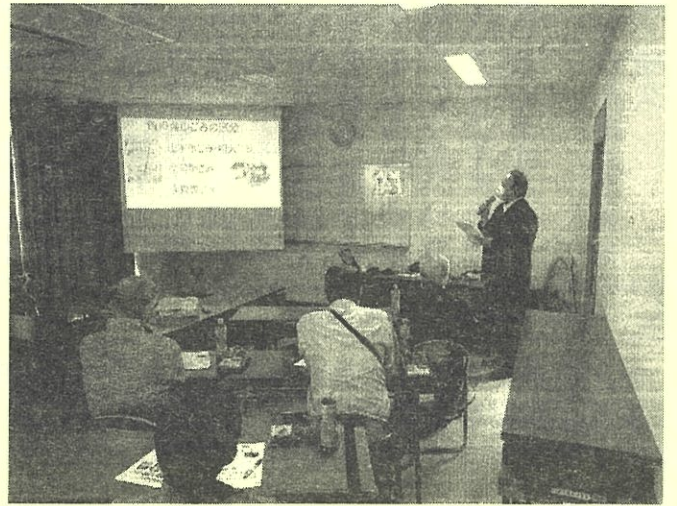
更に、リサイクル報償金の年間支給総額二百三十万円に対し、ほぼ同額の事務手数料がかかっていることから、別の支援制度も検討が必要との意見もありました。

活動報告（東郷地区）

「ゴミ処理とお金のはなし」について研修会を開催

東郷地区リサイクル推進委員会の研修会を令和2年11月8日（日）、東郷福祉センターで開催しました。講師には、環境保全課・課長 佐久間栄一氏にお願いして内容は標記の通りゴミ処理とお金のはなしを多角的な視点で捉えて頂きました。ゴミ問題は私たちが生活していく中で永遠のテーマになるでしょう。今回の主題は茂原市の負担金、分担金を如何に少なくするか、各町村と比較したときに「資源ごみ」処理費用のみ茂原市が高いのは「特別負担金」を支払っているからだ。

事業運営で一番に考えなければならぬのは、人件費削減である。然し、作業員の時給を下げることは難しい又は不可能に近い。スーパーなどで資源ごみ回収を行っているが、そこに持ち込むのも考えさせられる。スーパー等に持ち込めない家庭のことも配慮する必要がある。自治会によっては、リサイクル報償金を運営費の一部に組み込んでいるところもあると思う。長生郡市広域市町村圏組合の一層の経営努力を望む。設備の保守管理費の削減にはまだ余地がある。という意見があった。



活動報告（豊田地区）

豊田地区は、13自治会で構成されており、世帯数は約1800（令和2年度）であります。

年間の活動計画では、4月の定例総会及び5月の茂原市主催の「ゴミゼロ運動」、10月の活動委員会、11月の地区内ごみ集積所の3班に分かれての巡回視察調査、リサイクル関連の視察研修、12月の豊田地区一斉ゴミゼロ運動、市環境保全課主催の学習会に取り組んできました。

しかし、残念な事に、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、ほとんどの事業が中止を余儀なくされました。そんな状況下の中、豊田地区では、定例総会は、書面表決という方法を取り、ごみ集積所の巡回視察調査を11月14日と15日に実施し、12月6日には豊田地区一斉ゴミゼロ運動を実施しました。実施した活動を振り返りますと、ゴミ集積所の管理は全体的にかなり良くなってきていると思います。不法投棄のゴミについては、まだ不心得者がいて改善が見られません。

今回の豊田地区一斉ゴミゼロ運動では、つつじヶ丘自治会の脇を流れる道目亀川のゴミを回収しました。今後ともゴミの発生抑制と、分別リサイクル推進と、地域の環境美化に取り組んでまいります。

